

2023年度 NU-COIL「国際産官学連携 PBL 科目」

各科目の詳細と申込方法について

【すべての科目に共通する概要】

この科目は、演習形式で行われます。キャリア形成に結びつく実践的な COIL 型授業に位置付けられ、愛知県に所在する企業、団体、官公庁からビジネス・行政上の課題を提供してもらい、その課題に対して、海外の学生とオンラインツールを用いて共に理解を深め、解決策等を議論します。課題の提供先企業等に成果を発表し、また解決策等を提案し、フィードバックと評価を受けます。評価は成績に反映されます。この授業を通じて、異なる文化背景を持つ学生と、今まで培った外国語能力を活用しながら協働して課題に取り組み、グローバル人材としての素地を養うと同時に、実社会での課題に触れ、キャリア形成に生かすことが期待されます。南山大学 NU-COIL プログラムについてはウェブサイトにて公開しています (<https://office.nanzan-u.ac.jp/nu-coil/>)。

【すべての科目に共通する到達目標】

1. 問題や課題を理解し、客観的にとらえることができる
2. グループ内で、問題や課題に対する解決策をいくつか提案し、建設的な議論ができる
3. 異なる文化背景をもつ学生がいる中、グループ内で意見をまとめ、最適な解決策を提案することができる

【すべての科目に共通する注意事項】

- 第3クォーターの約7週間（全7回の授業）でプロジェクトを達成することが求められます。海外の学生とは、時差があるため、授業時間外で連絡を取り、話し合いをします。自分のスケジュールをみて、プロジェクトに関わる時間が確保できることを確認してください。やむを得ない事情で授業を欠席する場合には事前に教員へ相談すると共に、グループのメンバーとも相談をしてください。
- グループのメンバーは教員が割り振ります。
- オンラインでグループワークをする際は、各自で所有する端末を利用します。学外では各自のインターネット環境が必要です。

【各科目の授業内容】※状況により変更が生じる場合があります。

<PBL COIL A>

連携企業：一般社団法人グローバル愛知

連携大学：米国ノースジョージア大学（UNG）

課題：「留学生の就職率向上」、「中小企業における人材不足の解消」をミッションに掲げる一般社団法人グローバル愛知から提供される課題に取り組みます。今年度の課題は、「留学生の就活についての悩みと解決策」です。UNG 学生とのオンラインディスカッションを通じ、日米の就職活動の違いや働き方、ビジネスコミュニケーションの違いに気づき、理解を深めます。また、日本で就職活動をしている留学生への調査を行い、「留学生の就活」に関わる課題を見つけ、解決策を提案します。

授業日時：火曜日 5 限（17:25 - 19:05）

授業計画（予定）：

- 9/19(火) 第1回 導入、法人からの課題説明、グループディスカッション
- 9/26(火) 第2回 インタビュー、グループディスカッション
- 10/3(火) 第3回 インタビュー分析、課題発見、解決策の検討
- 10/10(火) 第4回 中間報告、グループディスカッション
- 10/17(火) 第5回 中間報告の振り返り、グループワーク
- 10/24(火) 第6回 プロジェクト最終発表準備、クラス内相互評価・分析
- 10/31(火) 第7回 最終発表

評価方法：

- ・提出物 30%
- ・最終レポート 30%
- ・授業内外での取り組みへの積極性 10%
- ・最終プロジェクト 30%

テキスト／参考文献：

エリン・メイヤー『異文化理解力 - 相手と自分の真意がわかる ビジネスパーソン必須の教養』（英治出版（2015/8/22））

その他：

- ・UNG 学生との交流は、授業外の時間に 2 回行う予定で、使用言語は英語です。英語でディスカッションを行う予定です。
- ・授業時間外に日本に来ている留学生への調査も行う予定です。

- ・基本的に授業は日本語で行いますが、授業中一部英語を使う予定です。
- ・9月13日（水）日本時間9:00amよりUNG学生と同期型の事前オンラインオリエンテーションを行います。参加するために、予定を空けておいてください。

<PBL COIL D>

連携企業：ブラザー販売株式会社

連携大学：米国メリーランド大学ボルティモアカウンティ校

課題：米国メリーランド大学ボルティモアカウンティ校で「Business Japanese」を受講する学生と協力し、ブラザー販売株式会社から提供される課題解決に取り組みます。今年度の課題は、持続可能な開発目標SDGsに関する製品・サービスの提案です。履修者は、ブラザー販売株式会社の企業としての取り組みを知り、課題を深掘りした上で、グループメンバーと多角的な視点からSDGsについて探求します。担当教員、外部講師のアドバイスを受けながら、グループメンバーや他の履修者との交流を通し、学びを深め、提案をつくっていきます。

授業日時：木曜日5限（17:25 - 19:05）

授業計画（予定）：

- 9/21(木) 第1回 導入、課題説明、連携企業担当者からの講義
- 9/28(木) 第2回 企業のSDGsの取り組みについて、グループディスカッション
- 10/5(木) 第3回 グループディスカッション、研究・調査報告
- 10/12(木) 第4回 中間報告、グループディスカッション
- 10/19(木) 第5回 グループディスカッション、研究・調査報告
- 10/26(木) 第6回 プロジェクトの最終確認、発表準備、クラス内相互評価・分析
- 11/9(木) 第7回 最終発表

評価方法：

- ・提出物 30%
- ・最終レポート 30%
- ・授業内外での取り組みへの積極性 10%
- ・最終プロジェクト 30%

テキスト／参考文献：

その他：

- ・メリーランド大学の学生との交流に際する使用言語は英語と日本語の両言語です。
- ・授業中の使用言語は日本語です。
- ・9月14日（木）日本時間9:00amよりメリーランド大学の学生と同期型の事前オンラインオリエンテーションを行います。参加するために、予定を空けておいてください。

履修申込について

【申込方法】

下記の受付フォームより申し込みをしてください（南山生・他大学生共通）。

（リンク）<https://app.nanzan.ac.jp/regform/regist/univ/intlstrategy/20230703>

【申請時の注意点】

・PBL COIL AおよびD複数科目の履修申し込みが可能です。※他大学生はPBL Aの履修申し込みはできません。受付フォームの「履修希望科目欄」で選択した科目（A,D）は、そのすべての科目を履修してください。（例：A,Dと記入した場合、原則A,Dの2科目が登録されます。自身の予定をよく確認した上で申し込みをしてください。原則として、申請後に辞退をすることは控えてください。）

・すでに単位取得済みの科目については、再登録はできません。科目が異なる場合は登録可能です。

（例：2022年度までに国際産官学連携PBL Aの単位を取得している場合、PBL Aは登録不可。PBL Dは登録可。）

【履修可能な学年】

2～4年生

【履修プロセス】

指定期間に事前申請が必要となります。定員を超えた場合は抽選を実施いたします。申請書に記載された内容は履修決定後、授業のグループ分けに使用しますので、不備の無いように記載してください。

（南山生、他大学生共通）

事前申請期間：2023年6月19日（月）から2023年7月5日（水）23時59分

申請結果通知：2023年7月下旬予定

南山大学の学生及び他大学の学生ともに、南山大学国際センター事務室（NU-COIL オフィス）よりメールにて事前申請の結果および今後の手続きについて連絡をします。

南山大学の学生：

履修決定者の科目登録方法は自動登録です。（自分で履修登録する必要はありません。）

2023年度秋学期初回登録期間中に、申し込んだ科目がきちんと登録されているかPORTA履修時間割表で確認してください。ただし、既に登録済みの他の科目と時間割が重複している場合や、登録上限単位数に達している場合は、本科目の登録が出来ません。その場合は、国際センター事務室（NU-COIL オフィス）より個別にメールにてご連絡しますので、必ず確認してください。また、本科目の登録を誤って取消さないよう注意してください。

他大学の学生：

こちらの申請の他に、所属大学での手続きが必要となります。出願から履修までの流れは、愛知学長懇話会のWebページを参考にしてください。<https://aichi-gakuchou.jimu.nagoya-u.ac.jp/howto>
所属大学での申し込みの期日については、ご自身で必ず確認してください。

ご質問等はNU-COIL オフィス（coil-office@nanzan-u.ac.jp）までお知らせください。以上